

行事予定表		
1	月	体操/防災の日
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	秋まつり（2歳以上）（土曜保育無し）
7	日	
8	月	体操
9	火	ピヨピヨ
10	水	交通安全教室13：30～（ぞうグループ）
11	木	
12	金	巡回相談
13	土	
14	日	
15	月	敬老の日
16	火	
17	水	おべんとうデー/避難訓練（通報訓練）
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	体操
23	火	秋分の日
24	水	
25	木	誕生会
26	金	筑波登山遠足（5歳児）
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	職場体験（牛久第三中学校）

園長
おきもと きよつた
沖本 恭大

少し前の私の家族のエピソードです。娘と車で出かけた際、対向車に道を譲り、運転手同士手をあげて挨拶を交わすと、娘が私に一言。「チヨキ出せば勝てるのになんでいつもパパはパ一なの？」ん？何のことだ？一瞬考えが止まりましたが、なるほどと理解。挨拶ではなくジャンケンをしていると思っていたようです。子どもの発想って面白いなとつくづく思う今日の頃です。

子どもたちは身の回りの生活全てが遊びになります。（特に年齢が小さければ小さいほど）時には大人には理解しがたいこともあります。しかし、大人が、子どもの立場になって物事の考えや見方を変えてみることで、子どもの気持ちを共感・理解ができるようになると思います。

つつしが丘ふたばランド保育園は遊びを中心とした保育園です。遊びを通して身の周りの生活の術を学びます。秋まつりの出店ごっこでは「いらっしやいませ」「くださーい！」「ありがとう！」と遊びの中で言葉のやり取りがたくさん見られるようになってきました。

今後もつつしが丘ふたばランド保育園は子どもにとって遊びを中心とした保育園であり続けられるように職員一同努めてまいります。

今月の予定から・・・



●アルファーム米を食べよう。（1日）

・今年も、防災の日（9/1）にちなみ、アルファームとけんちゃん汁、そして離乳食の子は、備蓄品のお粥を食べる経験をします

●秋まつり（6日）

・秋まつりに向けて神輿担ぎや盆踊り、出店ごっこをクラスや異年齢で楽しんでいる所です。行事当日の参加は2歳児以上のクラスですが、にじぐみやひかりぐみも園内での活動を楽しんでいます。※土曜保育は行いません。

●ピヨピヨひろば（9日）

・地域の子育て支援「ピヨピヨひろば」として、月1回設定保育を実施しています。園開放も行っていますので育休中の方もどうぞ遊びに来て下さい。

●交通安全教室（10日）

13:30~

今回はぞうグループの参加になります。道路の渡り方などを教員の方に教えていただきます。

●巡回相談（12日）

・年数回、経験豊富な心理や発達の専門家が保育園を訪問しています。日頃のお子さんの育ちで気になる事等があれば、アドバイスをしてもらうことができます。ご相談等ありましたらどうぞお声がけ下さい。

●おべんとうデー（17日）

まだまだ暑い時期が続きますので、お弁当の蓋の上に保冷剤を乗せてご持参ください。乳製品、要冷蔵のものは入れないでください。

●避難訓練（17日）

・消防署の方が見えて、避難訓練の様子を見て頂きます。当日は、消防自動車も来る予定です。

●誕生会（25日）

・1年に1回誕生児にとって大切な日を「おめでとう！」と心からお祝いします。※誕生児の保護者の方は誕生会の見学が可能ですので、ご希望の方は、お知らせ下さい。

●筑波登山遠足（26日）（ぞうグループ）

・ぞうグループの子ども達がつくば登山に挑戦します。困難な場所もありますが、みんなで力を合わせて頂上を目指します。

●職場体験（30日）

牛久市立第三中学校二年の生徒さんが2日間数名職場体験に来ます。

●年長児就学前検診が始まります

10月より牛久市内就学前検診が始まります。ご家庭に案内が届く頃かと思いますが、内容をよく確認し、必ず受けてください。

お知らせ

非常勤保育士の竹脇真由美ですが、一身上の都合で8月末で退職となります。

日本の夏は鎮魂の夏だ



戦後80年、いつまでも戦「後」であって欲しい。決して戦「前」になってはならない。友人が、ポツリと言ったことが、心に残った。「今の子ども達が大人になった時、この世の中どうなっているか、心配だ。」気候変動と戦争への足音が聞こえているようで、子ども達の未来が心配になる。▼私の子ども時代には、戦争の傷跡が深く残っていた。それでも未来は、きっと良くなると希望があった。悲惨な体験をした人々は、もう二度とあの様な

時代をつくらない。軍国主義反対、反戦、そして平和主義と、国民主権（民主主義）、基本的人権を守ると心に誓った。あの田中角栄が、「戦争体験のない世代が政治の中枢になる時は危険だ」と言っていた。今まさにその時か？戦争に向かって、核武装まで言い出し、人権を無視し、人種差別まで主張する政治家も出てきた。しかし、戦争体験がなくとも、想像はできる。正しい知識を持って、自分達の選択が戦争に向かってしまっているのではないか、行動が地球環境を破壊し、気候変動を促進するのではないかと、想像することはできる。▼今、子ども達に最も育てたい能力はイマジネーション能力である。人と接することなく、機器と映像の世界では、イマジネーションは育ちにくい。人は、思うこと、考えること、想像すること、そして新しいこと、未来を創造することが、最も大切である。ジョン・レノンの「イマジネーション」の歌詞を思い出して欲しい。地球には、国境などない、人はみんな仲間だ、差別などない、地球上の全ての人々が平和に暮らしていることを想像しよう。中東のガザで、ウクライナで爆撃され、餓死寸前にある人々のことを「想像」しよう。▼SNSで、陰謀論、嘘、偽情報が拡散している。どこからその情報が出てくるのか、その情報の目的は何か、何が真実か、自分で考え、思い、想像する力が必要だ。特殊詐欺に加担させられた若者は何も考えず、足を踏み入れ、抜け出せなくなった。何しろ、平気で嘘をまくしたてる政治屋と大統領が跋扈する世界である。正しい知識を持って、考え、思い、想像（イマジネーション）してみることが大切である。他者に対して、自分達の未来に対して、社会に対して、イマジネーションを持って人間に子ども達を育てなければならぬ。

来月に続く・・・

理事長

浅田 精利
あさだ きよとし